

信州松本市・四賀



クラインガルテンだより

■発行／松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 4月1日 ■印刷／㈱ブラルト

2019 春号 Vol.36

萌える春が
来た！

信州の
味な
はなし

わさびの花のお浸し

“春を告げる”のは福寿草だけではありませんね！この時期になると白くて可憐な花をつけたわさびも食卓膳を飾り、信州ならではの春を告げます。作り方はいろいろありますが、切った葉わさびに熱湯をかけ、しんなりしてから氷で冷やし、砂糖と塩で辛さを引き出したシンプルなもの定番です。適度な辛さがお酒に良く合います。



緑ヶ丘クラインガルテンの朝

信濃の国は十州あるも、北から南まで緯度が随分と異なります。桜前線は徐々に北上してきて、ようやく四賀の里でも桜の花を見る季節になりました。

近年温暖化が進み、あらゆる生態系に影響を及ぼしていると報道で耳にします。昨年^{はいちゅう}から特に暖冬を感じるこの地でも、啓蟄の時を待たずしていくつかの昆虫を発見することがありました。もちろん成虫で越冬するキチョウは佳い日和に誘われ、真冬のさなかでも飛び交う姿に出会いました。

いよいよ2019開園祭も近づき、ラウベ周辺の環境整備に精を出す日々ですね。さやえんどうなどの苗物も順次植え付け時期がきます。新しい仲間と一緒に今年も田舎暮らしを満喫しましょう！

新春は伝統行事で一年を占う！

ものづくりと三九郎

1月12日(土)～13日(日)



小正月の伝統行事「ものづくり」や「三九郎」が行われました。写真の地区では、三九郎の前日に公民館で子どもを交えて米粉でまゆ玉や野菜の形を作りました。それを柳の枝に刺して家々に持ち帰って、その日は神棚に奉納します。

翌朝は竹やぶから竹を切り出し、各家庭を回って松飾を集めま

す。そして長い竹の頭をひと束にし、皆で地面に垂直に立ててから体裁を整えます。

無病息災、五穀豊穡を祈願して燃やす炭火で、奉納したものを焼いて食べます。子どもも大人も正月の伝統文化を継承する楽しい行事の一つです。

坊主山のラウベスナツプ

ガルテナーを待つ農園

真冬の坊主山クラインガルテンの様子です。酷寒の1月半ば過ぎ、暖冬とは言え雪が全く見受けられない虚無蔵山を背景に農園はラウベとともに静かに時を刻んでいます。ホントに降雪の少ない今冬でした。

冬ごもりの畑では、昨秋植えられた玉ねぎの苗やニンニクがしっかりと根付いて春の訪れを待っています。時

折の雨が少しずつ成長を促しているのかも知れませんが、

萌える春よ来い！早く来い！



竹垣用の寒竹取り

2月2日(土)



立春を前にした大寒のさなか、恒例の寒竹取りイベントが開催されました。この時期の竹は水分が少なく長持ちするため寒さを押して2月に作業を行います。26名の参加者は汗を流しながら竹やぶから適当な長さで太さの竹を切り出していました。

枝や不要な部分はその場で燃やすため、その火を利用して焼き芋を作り、熱々に焼けたものを皆さんで頬張りました。ホックホックでとても美味しくできました。

四賀

ガルテン歳時記

田んぼの時期到来。でも、今年は水不足が心配！四賀の水ガメは東にそびえる入山(1626m)です。山懐が浅く根雪も少ないので河川の水量も普段は少なめです。それでも開園祭のころから田ごしらえが始まり、そのうち蛙の合唱も聞かれる春爛漫がやってくることでしょう。



春見つけた！オオイヌノフグリ

3月10日(日)

この花が咲き始めて幾日経つでしょう。地面を這うように日向でそっと咲くので、車で通りすがりに見つけにくい小さな花です。よく見ると明るい水色をしていて、福寿草と並んで春の訪れを知らせてくれる花の一つです。



ヨーロッパ原産でその咲き具合から星の瞳とも称され、春の和み運んでくれます。花ことばは「忠実」や「信頼」だそうです。四賀地区でも各所で見られ、この花の周りには同じころ咲く「仏の座」も花をつけてきました。

四賀ガルテナーの楽しみ

ガルテンを何してん!?

両親の想いを受け継ぎつなぐ 充実のガルテンライフ

坊主山クラインガルテン 212号 二見倫史さん・美和子さん

二見倫史さん(58)、美和子さん夫妻は、両親の永井克知さん(82)、登志子さんからガルテンを受け継ぎ、5年前に代替わりしました。東京都北区から月2回のペースで通っています。

転勤生活を送っていた美和子さんのお父様

が、最終勤務地である信州でガルテナー生活をはじめたのは平成6年のこと。「田舎の親戚」と呼ばれる地元住民のボランティアに支えられながら無農薬野菜作りに励むなど充実のセカンドライフを送っていました。

そんな両親のもとへたびたび遊びに来ていた美和子さん。イベントを通じて周囲とも交流を深め、いつしかここが特別な場所になっていました。一方、偶然にも下諏訪に祖父母宅があり、幼少時代から夏・冬と信州へ遊びに来ていたという倫史さん。「信州の空気が好き」なこともあり、スツとこの地に馴染むことができました。

東京生まれ東京育ちの倫史さんにとって、畑仕事は初体験の連



続。最初は苦労もありましたが、地元の方の指導も受けながら玉ネギ、ジャガイモ、トウモロコシ、大根、キャベツ、アスパラガスなどさまざまな野菜を作れるようになりました。さらに、ガルテナーの先輩に教えてもらったのが「アカザの杖」。それまで雑草だと思って抜いていたアカザを秋まで育て、完成した立派な杖は自慢の品です。また、ガルテナー同士の交流も楽しみのひとつ。夫婦同士でお酒を酌み交わしたり、日帰り温泉へ出かけるなど「年上の方とも気軽に打ち解けて話せる」環境がうれしいと倫史さんは話します。

明るい笑顔が印象的な二人ですが、数年前には美和子さんが体調を崩し、療養生活を余儀なくされた時期もありました。「その間も



ここには来ていました。外に出られなくても空気を感じ、四季を感じる。それだけで救われましたね」と美和子さん。

平日は仕事に励み、金曜の夜に東京を出て、日曜の夜に戻る生活。「ガソリン代の節約に」とe-POWERのノートを新調し、下道で6時間という長時間ドライブも楽しんでいます。また、TVもないラウベの生活で夫婦の会話も増えたそう。「自然の中で一緒に時間を過ごし、楽しい、美味しいと感じられる。今はそれがなによりも幸せです」と仲良く微笑みあう二人です。



行っ
て
み
よう!

クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

Event information

※イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。

国宝松本城「太鼓門春の特別公開」

開催日 4月13日(土)～5月6日(月・振替)AM8:30～PM5:00
ところ 松本市 史跡松本城太鼓門
お問い合わせ 松本城管理事務所 ☎0263-32-2902



松本城管理事務所提供

松本城の東側にある太鼓門枡形の一の門で、北側門台上には鐘と太鼓を備えた太鼓楼があり、時の合図や登城の合図を発信する重要な役割を担った。樹齢400年の檜などを使い、1999年に復元されてから、毎年4・7・10月の年3回、太鼓門櫓内を公開している。無料。

上高地開山祭

開催日 4月27日(土)AM10:50～
ところ 上高地 河童橋もと
お問い合わせ アルプス山岳郷 ☎0263-94-2221

アルプホルンのファンファーレとともに幕開けし、今シーズンの山の安全を願う神事や獅子舞、太鼓の演奏など。5月7日(火)～7月5日(金)は上高地ウォークラリー2019、6月1日(土)・2日(日)は第73回ウェストン祭(同1日は徳本峠山行)。

早春賦まつり

開催日 4月29日(月・祝)AM10:00～12:00
ところ 安曇野市 穂高川右岸 早春賦歌碑前
お問い合わせ 同まつり実行委員会 ☎0263-82-3131

♪春は名のみの風の寒さや～で始まる「早春賦」は、日本の歌百選にも選ばれた唱歌。春の訪れを待ちわびる安曇野を歌ったものとされ、毎年開かれている。同日PM1:30～近くのあづみ野コンサートホール(☎0263-82-6419)では早春賦まつりコンサートを開催。

企画展「松高人名録(その一)」

開催日 5月6日(月・振替)まで(月曜休館・祝日の場合は開館)
ところ 松本市 旧制高等学校記念館 1階ギャラリー
お問い合わせ 同記念館 ☎0263-35-6226

松本高等学校開校100年を記念して開催。臼井吉見や唐木順三ら、同校の卒業生の中から選んだ人物のプロフィールや、在学中・卒業後のエピソードなどをパネルで紹介。同記念館と信州大学日本文学分野、同大学大学史料センターの連携事業。無料。

夜オルガンVol.8「春の風」

開催日 5月28日(火)PM7:00
ところ 松本市音楽文化ホール
お問い合わせ 同ホール ☎0263-47-2004

ワンコイン・予約不要で気軽に楽しめる「夜オルガン」シリーズ。今回は勝山雅世さんが「春の風」をテーマに演奏します。「故郷の主題による変奏曲」など、おなじみのメロディも。演奏時間は約1時間です。入場料500円(高校生以下無料)。

工芸の五月参加企画「刺し子と手仕事の日本ー丸山太郎の民芸を旅する」

開催日 6月16日(日)まで(月曜休館、4月30日・5月27日は開館)
ところ 松本市 松本民芸館
お問い合わせ 同館 ☎0263-33-1569

国内外を旅した故丸山太郎が「美しいものが美しい」という独自の感性で収集したコレクションを収蔵する松本民芸館。今回は刺し子を中心に、約6800点の中から日本の手仕事120点を紹介。入館料は大人300円、中学生以下と70歳以上の松本市民は無料。

江戸のデザインー浮世を楽しむ遊び心ー

開催日 4月2日(火)～6月23日(日)(月曜休館、祝日の場合は開館)
ところ 松本市 日本浮世絵博物館
お問い合わせ 同博物館 ☎0263-47-4440

季節の草花や生き物、吉祥図など、浮世絵に描かれた着物の文様から見る美意識に着目して展示。期間中、着物の来館者は「きもの割引」として入館料100円引。4月28日(日)、5月4日(土・祝)、6月15日(土)は各日PM2:00からギャラリートークを開催。入館料は一般1000円。

夢農場ラベンダー祭り

開催日 6月上旬～7月中旬(予定)
ところ 池田町 ラベンダーガーデン夢農場
お問い合わせ 同農場 ☎0261-62-5510

花の時期が異なるラベンダーを栽培する約4haの農場で、見頃となる6月から7月にかけて開催。恒例のメインイベントは6月15日(土)・16日(日)に開催。ラベンダーの摘み取りやアロマ講習会、野外ステージのコンサートなど今年も多彩な催しを予定。

ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会2019

開催日 6月30日(日)AM7:30スタート
ところ 松本市野球場～美ヶ原高原駐車場
お問い合わせ 同大会事務局 ☎0263-46-1800

浅間温泉から美ヶ原高原まで、標高差1270m、全長21.6kmの登り坂だけのヒルクライムレース。全国から集まる参加者たちがマウンテンバイクやロードレースバイクなどの自転車で一斉にスタート。国内屈指のハードなレースともいわれている。